

垂井町 学校支援だより



垂井町教育委員会 生涯学習課

「地域の子どもたちは地域で育てる！」という思いから、多くの方々が学校の教育活動を支援していただいています。様々な体験活動や学習を通して、新たな知識や発見があったり、地域の伝統文化の素晴らしさに気付き、担い手としての自覚を深めると同時に、関わってくださった方への憧れや感謝の気持ちを抱いたりする児童生徒の姿が多く見られました。まちづくりセンターの「地域子ども教室」と、うまくタイアップして実施されている授業も多くあります。また、新たに組みこんでいただいたこともあります。それらの一部を紹介させていただきます。

各 学 校 の 活 動 の 紹 介

垂井小学校



毎月1回水曜日に、垂井祭囃子保存会の方たちにお囃子クラブを指導していただいています。6月11日(水)には、会長の酒井朝三さんをはじめ4名の方に来ていただきました。2

お囃子クラブ

回目ということで、笛の音出しの練習と口調でメロディーを覚える授業でした。将来、垂井祭りの担い手になってほしいと保存会の方は、願ってみえました。また、学校もこのクラブを通して、地域の一員として感じるきっかけになればと願っていました。



手ぬい授業支援 (家庭科)

BBR(ぶらっとボランティア連合会)の方を中心に呼びかけに応えられた6名の方が、6月6日(金)の5年生の手ぬいの授業に「ふるさと先生」として参加していただきました。1グループに1名の方がついて、児童たちができるようにするまで、一人一人に粘り強く丁寧に支援をしていただきました。

児童たちは、「むずかしかったけど、丁寧に教えてもらって、できるようになり嬉しい。」と感謝していました。また、ボランティアの方からは、「楽しかった。活力をもらった。」という感想が聞けました。



表佐小学校

3年生が、7月2日(水)に「ハリヨ・ほたるを育てる会」の方4名を理科室にお招きして、表佐地区に生息しているハリヨとゲンジボタルの学習をしました。児童たちは、垂井町内で表佐地区だけに絶滅危惧種であるハリヨが生息していることやゲンジボタルの雌雄の違いなどを教えていただきながら、表佐地区の自然の良さを学習しました。

講師の皆さんは、児童たちが、一生懸命話を聞いてくれて嬉しかったと話されました。

まちたんけん (総合的な学習の時間)



(スライドによる説明)



(ハリヨの観察)

合原小学校

5月27日(火)に、3・4年生10名が、栗田幾子さんを講師に招いて、生け花を体験しました。

授業の中で、日本の伝統文化の良さやおもてなしの心を教えていただきました。

授業の感想で、全員が「楽しかった。」と答えていました。栗田さんは、一人一人の作品を前に、作品への思いを聞きとり、そして、その良さと改善点を分かりやすく指導されました。「先生のアドバイスはさすがです！」と話してくれた児童もいました。礼儀作法が自然と向上しました。

生け花教室 (総合的な学習の時間)



(一生懸命に取り組む生け花体験)



(アドバイスを受ける児童)

府中小学校

(総合的な学習の時間)
ふるさと学習

6月20日(金)に、府中まちづくり歴史文化部の皆さんの協力のもとで、6年生40人が、美濃国府について、国府跡を訪れて学習しました。元気な挨拶から始まり、ヤブ蚊と戦いながらも熱心にメモをとり、話に聞き入っていました。児童たちが自分たちで考えて、ゴミ拾いをしながら移動している姿に、歴史文化部の皆さんも大変感心してみえました。



(高木正弘さん) (小竹一成さん) (小玉義弘さん)

岩手小学校

(総合的な学習の時間)
地域歴史教室

4月30日(水)に地域子ども教室の「菁莪塾」とタイアップし、水野幸治さんを講師に招いて、岩手地区の古墳、伊吹氏→岩手氏→竹中氏までの歴史の流れを学習した後、禅幢寺・竹中家墓所、櫓門、菁莪記念館を見学しました。講師の水野さんは、「地域の歴史を代々受け継いでいってほしい。」と話されました。

児童達からは、「代々受け継がれているものが多くあった。」という感想が聞けました。



(陣屋跡櫓門の中) (菁莪記念館)

東小学校

5月27日(火)、6年1組・2組の国語の授業に、日頃お世話になっている見守り隊の方々8名をお招きし、インタビューをしました。

各グループに分かれ、「見守り隊を始めたきっかけは何か」「どんな思いで見守り隊の活動を行っているのか」「登下校で気を付けてほしいことは何か」等の質問をしました。

インタビュー後、児童たちは「2時間もかけて、私たちの安全を見守っていただいていることを知って、ありがたいなあと思った。」「見守り隊の方が通ったら、おじぎやあいさつをして、感謝の気持ちを伝えたいと思った。」などの感想をもちました。

(国語の時間「聞いて、考えを深めよう」)
見守り隊の方々にインタビュー



不破中学校

部活動の地域移行の一環として休日活動を「不破クラブ」の皆さんにご指導いただいています。指導部長の多和田佳隆さんを中心に多くの方々にお世話になっています。指導者の皆さんには、「一緒に勝つ喜びを味わいたい」「強いチームにしたい」という熱心な思いで指導していただき、専門的な技術やチーム戦術、そして一人の人としての「人間力」を、丁寧に寄り添って教えていただいています。

生徒たちは、そんな指導者や保護者の方々に感謝や尊敬の念を抱きながら、バックネットに掲げる「全国制覇」を目指して日々練習に取り組んでいます。

野球部の指導



(グラウンドの水撒き)

北中学校

夏野菜づくり



(高木さんの説明)

あおば学級の生徒5名が、府中地域農地・水保全会の高木芳彦さんに教えていただきながら、作業の時間に夏野菜を育てています。土作り、畝作りと3時間目の5月8日(木)には、苗植えを行いました。生徒たちは、自分から作業を求めたり、頼まれたりしたことを、仲間と協力しながら明るい雰囲気で行っていました。担任の先生は、苗植えまでの段取りやその後の世話の仕方もしっかりと教えてもらって、高木さんにとても感謝していました。



(穴開け1畝に8つ)